



ID: 1358

科目名	国際コミュニケーション論【26年度生用】			コード			
英語表記	International communications theory						
担当教員名	ラメイ・アレック・ラッセル			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態			
授業概要							
本講義では、受講生の多文化および他文化理解の向上を目指す。心理学、人類学、社会学の視座に基づき国際コミュニケーションを学ぶ。その中で、先入観を明確化し、日本人との対話をどのように円滑化させるのかを考察する。							
到達目標							
テキストの内容を受講生の生活に応用できるようになる。ディスカッションを踏まえて、これまでの留学生生活での出来事などを内省することにより、最終的に自らのバックグラウンドを考慮し、「他」の文化を持つ者の立場が相対的に見られるようになる。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション:コミュニケーションとは何か?						
第2回	動物のコミュニケーションとサイン						
第3回	ハビタスと文化的価値観						
第4回	グローバル化と変容する文化						
第5回	言語コミュニケーション①						
第6回	言語コミュニケーション②						
第7回	非言語コミュニケーション① (ボディランゲージ)						
第8回	非言語コミュニケーション②						
第9回	中間テスト						
第10回	アイデンティティとコミュニケーション						
第11回	グローバル化する世界の異文化接触						
第12回	コミュニケーションの阻害要因						
第13回	多文化とうまくつきあうために						
第14回	期末試験の復習						
第15回	期末試験/授業のまとめ/総括討論						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
出席や課題レポート、毎回授業後に書いてもらうコメントシートなどをもとに総合的に評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	20	50	
授業外学習			テキスト、教材				
			八島智子/久保田真弓著「異文化コミュニケーション論:グローバル・マインドとローカル・アフェクト」松柏社、2012年				
参考書			受講生へのメッセージ				
			授業はテキストにそって進む。第1回目のクラスで宿題を出すので、早めに本を購入すること、毎回20~30ページほどテキストを読んで予習して下さい。				
キーワード							